

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

第4回研究委員会 開催日：10月27日。出席者：田中委員長，ほか15名。

1. 昭和63年度予算編成方針について。
2. 特定基礎研究会昭和63年度の運営について。
3. 鉄鋼基礎研究会新規テーマについて。
4. その他。

第5回研究委員会 開催日：12月3日。出席者：田中委員長，ほか14名。

1. 高温強度研究委員会高温熱疲労試験分科会委員構成変更の件。
2. 特定基礎研究会電磁気冶金の基礎研究部会委員構成変更の件。
3. 特定基礎研究会 新規テーマについて。
63年度は2部会を新規発足させることとし，テーマは次回決定する。
4. 鉄鋼基礎共同研究会運営委員会報告。
5. 昭和63年度特定基礎研究会および鉄鋼基礎共同研究会予算について。
6. 研究テーマ小委員会報告。
7. 海洋材料小委員会の設置について。
8. その他。

編集委員会

第9回和文会誌分科会 開催日：12月4日。出席者：鈴木委員長，ほか27名。

1. 25件の論文審査報告がなされ，掲載決定14件，照会后掲載可8件，修正依頼1件，その他2件であった。
2. 「鉄と鋼」第74年第4号（4月号）に論文13件，技術報告2件，寄書1件掲載決定した。

第9回欧文会誌分科会 開催日：12月11日。出席者：鈴木委員長，ほか12名。

1. 13件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可1件，照会后掲載可3件，修正依頼8件，返却2件であった。また8件のNew Technologyにつき審査報告がなされ，掲載可1件，修正依頼7件であった。
2. 「Trans. ISIJ」Vol. 28, No. 3に，10件の論文と2件のNew Technologyを掲載決定した。

ISO 運営委員会

ISO 運営委員会第15回会議 開催日：12月10日。出席者：山本委員長，ほか20名。

1. 前回会議議事録の確認。
2. ISO事務局の定例報告。
3. 第12回TC17/SC1会議準備状況報告。
4. 審議事項。
(1) 昭和62年度事業報告及び昭和63年度事業計

画。

- (2) 昭和62年度決算予想及び昭和63年度予算案。
- (3) 臨時協会事業検討委員会答申の対処について。
5. その他

ISO 運営委員会 SC1 諮問部会第25回会議 開催日：12月11日。出席者：佐伯部会長，ほか10名。

1. 新課題（Ca-原子吸光法，無炭原子吸光法，Cr-原子吸光法，Al-原子吸光法）の登録。
2. Al（酸可溶Al及び全Al）の原子吸光法（DP9658）の最終DPの作成とDIS登録申請。
3. Nb-吸光光度法（DIS9441）の修正版を中央事務局へ返送。
4. 微量Si-吸光光度法（DIS4829-2）及びバナジウム吸光光度法（DIS4942）の合同投票コメント処理の諮問。
5. シドニー会議事務局提出資料の検討。
6. ISO 運営委員会第15回会議審議内容の報告。
7. その他 鉄鋼分析 ISO 規格制度進捗状況，金属及びその鉱石類のISO 制定規格の紹介など。

共同研究会

第64回厚板分科会 開催日：11月19, 20日。開催地：日本鋼管・福山。出席者：柳澤部会長，ほか84名。

1. 議事。
(1) 工場操業状況報告：12件。
(2) グループ別討議。
(イ) スタッフグループ。
「直行率 PART II」
直行率阻害要因への取組み
(ロ) 作業長グループ。
「機動化，多能工化」
- (3) 各社単位テーマ発表 8件。
2. 工場見学。
日本鋼管（株）福山製鉄所 厚板工場

第49回鋼管部会 開催日：11月5, 6日。開催地：新日鉄・東京，久保田・市川。出席者：森部会長，ほか121名。

1. 共通議題。
「鋼管の仕様処理業務について」（新日鉄・東京）。
2. 特別講演「セラミックの鉄鋼への応用」。
(1) セラミックコーティングの鋼管への適用検討（新日鉄・第二技研）。
- (2) CVD, PVD 技術の表面改質への応用（住友電工・伊丹研）。
3. 指定議題。
「UO 鋼管製造設備の自動化について」（住金・鹿島）
ほか2件

4. 分科会選定議題.

「低合金シームレス鋼管の耐サワー性について」(新日鉄・八幡技研) ほか 1 件

5. 工場見学.

新日本製鉄(株)・東京製造所

久保田鉄工(株)・市川工場

6. その他.

第 41 回継目無鋼管分科会 開催日: 12 月 3, 4 日.

開催地: 鋼管・本社. 出席者: 西郷主査, ほか 43 名.

1. 共通議題.

(1) 熱押・冷牽関係.

(a) ステンレス鋼管製造における品質管理について(新日鉄・光).

(b) 鋼管の寸法精度・表面性状等の問題点および対策(神鋼・長府北).

(2) マンネスマン関係.

(a) 低操業下における要員配置について(新日鉄・八幡).

(b) 継目無鋼管の表面肌について(鋼管・京浜).

2. 工場操業状況報告.

3. 次回議題検討.

4. その他.

第 41 回溶接鋼管分科会 開催日: 11 月 19, 20 日.

開催地: 住金・大阪本社. 出席者: 岩本主査, ほか 41 名.

1. 共通議題.

(1) 鍛接鋼管関係.

CW 塗覆装用鋼管の製造と精整検査作業について(新日鉄・君津)

(2) 電縫鋼管関係.

電縫鋼管の小ロット化対応方法について(新日鉄・光)

(3) スパイラル鋼管関係

各ラインの休止分析と効率化(川鉄・知多)

(4) UO 鋼管関係.

UO 工場における自動および制御システムについて(新日鉄・君津)

2. 工場操業状況報告.

3. その他.

.....

第 61 回鉄鋼分析部会 開催日: 11 月 6 日. 開催地:

新日鉄・名古屋. 出席者: 佐伯部会長, ほか 85 名.

1. 議事.

(1) 鉄鋼分析部会活動概要報告.

(2) 化学分析分科会経過報告.

(3) 機器分析分科会経過報告.

(4) 表面分析小委員会経過報告.

2. その他 10 件.

第 6 回機器分析分科会 開催日: 11 月 5 日. 開催地:

新日鉄・名古屋. 出席者: 真鍋主査, ほか 39 名.

1. 議事

(1) 発光分析における微量元素定量精度の確認 WG に関して.

(2) 鉄鉱石の蛍光 X 線分析方法の規格改訂 WG

進捗状況.

(3) 蛍光 X 線による鉄鋼の炭素分析まとめ.

(4) 自由報告.

2. その他.

.....

第 81 回熱経済技術部会 開催日: 11 月 26, 27 日.
開催地: 神鋼・加古川. 出席者: 樋渡部会長, ほか 110 名.

1. 61 年度エネルギーバランスまとめ(神鋼・加古川, 川鉄・知多).

2. 統一議題.

「冷却技術研究小委員会報告」

3. 研究議題.

「加古川製鉄所における燃焼・伝熱技術の開発」(神鋼・加古川)

4. 自由議題.

「コークス炉燃料ガス予熱器の省蒸気システム」(新日鉄・八幡) ほか 11 件.

5. 自由討論.

「省エネルギー型高炉ガス清浄装置 VS-ESCS の稼働状況」(新日鉄・設備技術本部) ほか 4 件

6. 工場見学.

(株) 神戸製鋼所・加古川製鉄所

7. その他.

.....

第 12 回運輸部会 開催日: 11 月 12, 13 日. 開催地: 日新・呉. 出席者: 石川部会長, ほか 121 名.

1. 共通議題.

「他産業の物流実態調査報告」(他産業物流調査小委員会)

2. 自由議題(改善事例テーマ).

「原料船内荷役作業の改善」(新日鉄・名古屋) ほか 12 件.

3. 工場見学.

日新製鋼(株)・呉製鉄所.

4. その他.

.....

第 57 回品質管理部会 開催日: 12 月 4, 5 日. 開催地: 日新・堺. 出席者: 野寄部会長, ほか 81 名.

1. 議事.

(1) 共通議題.

「製造部門の情報伝達体制について」

(a) 事例発表 15 件.

(b) アンケートまとめ.

(2) 特別報告.

「日新・堺における品質管理活動の現状と課題」

2. 工場見学.

日新製鋼(株)・堺製造所 連続酸洗, 冷延, 連続焼鈍, 連続塗装の各工場.

.....

設備技術部会鉄鋼設備分科会 開催日: 62 年 11 月 19, 20 日. 開催地: 日造・桜島. 出席者: 斎藤主査, ほか 126 名.

共通議題、自由議題及び講演の発表、討議更には工場見学を実施した。

議事

1. 共通議題。

テーマ名「高炉における微粉炭吹込設備 (PCI) の問題点と対策」

- 1) アンケートまとめ
- 2) 事例発表 8 件
2. 自由議題. 10 件
3. 講演.

テーマ名「新素材開発の現状と動向」

新日鉄・新素材事業部 技術企画部長 鈴木正彦氏

2. 工場見学.
- 日立造船 (株) 桜島工場

第 37 回設備技術部会圧延設備分科会 開催日：11月12, 13日。開催地：鋼管・京浜。出席者：久保部会長，三科主査，ほか 133 名。

1. 共通議題 I 「設備稼働状況」.
2. 共通議題 II 「修繕コストを下げるための長寿命化対策」.
- (1) 各社事例発表 15 件
3. 共通議題 III 「圧延設備の腐食対策事例」.
- (1) 各社事例発表 8 件
4. 工場見学.
- 鋼管・熱延工場

特定基礎研究委員会

第 2 回特定基礎研究会運営委員会 開催日：12 月 8 日。出席者：田中委員長，ほか 16 名。

1. 各部会活動報告および 63 年度活動計画。
 - ・電磁気冶金の基礎研究部会
 - ・画像解析による材料評価部会
 - ・鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の設計と制御部会
 - ・石炭の炭化反応機構部会
2. 昭和 63 年度特定基礎研究会予算について。
3. その他。

第 7 回電磁気冶金の基礎研究部会 開催日：10 月 26 日。出席者：浅井部会長，ほか 23 名。

1. 依頼講演.
- 溶融金属粒の放射测温法 (日本鋼管)
2. 研究発表.
- (1) プラズマ計測.
- (2) 超音波プラズマ流のレーザー分光計測.
- (3) 直流磁界による溶鋼流制動に関する実験と三次元シミュレーション.
- (4) 連铸鑄型中の電磁制動現象の数値解析.
- (5) 磁界による表面波動抑制に対する境界の影響について.
- (6) 電磁力による連铸浸漬ノズルの流量制御に関するモデル実験.

鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の設計と制御部会 開催日：10月22日。出席者：石田部会長，ほか 7 名。

1. 界面問題と電子顕微鏡の将来についての討議を行

った。

2. その他。

標準化委員会

標準化委員会 ISO 鉄鋼部会 SC 1 分科会第 85 回会議 開催日：12 月 11 日。出席者：佐伯正夫主査，ほか 10 名。

1. WG 12 (プラズマ).

日本鋼管が国際予備実験を実施中，12 月末までに報告予定

2. WG 13 (B-吸光光度法).

コベルコ科研，川鉄，住金の実験結果を報告済，日本コメント作成中。

3. WG 16 (Mn-原子吸光法).

大同，鋼管，コベルコ科研の実験結果を報告済，日本コメント作成中。

4. WG 17 (Ca-原子吸光法).

鑄鉄試料は試料内での偏析が大きいため不適当との日本コメントを提出。

5. WG 18 (無炎原子吸光法)

コベルコ科研の国際予備実験結果を報告済。

6. WG 19 (Cr-原子吸光法).

WG 報告書案文の検討…近日中に英文化。

7. Ad hoc group (統計解析).

回帰線の画き方と定量下限の決め方，共同実験試料の選択法について問題提起。

高級ラインパイプ研究委員会

高級ラインパイプ研究会第 63 回 HIC 分科会 開催日：12月11日。開催地：川鉄・東京本社。出席者：田中主査，ほか 7 名。

1. HIC 分科会報告書の案の検討.
2. ISIJ 溶液による HIC 試験.
3. 今後の分科会の運営について.
4. その他.

高級ラインパイプ研究会第 4 回 BT 分科会 開催日：12 月 11 日。出席者：川口主査，ほか 6 名。

1. Pressure Reversals の実験的検討.
2. 今後の方針検討.
3. その他.

鉄鋼基礎共同研究会

鉄鋼の急速凝固部会 開催日：11 月 11 日。開催地：IHI・横浜技研。出席者：大中部会長，ほか 33 名。

1. 研究発表 5 件。
 - (1) フェライト，オーステナイトおよび液相における溶質元素と炭素との相互作用.
 - (2) 高圧ガス噴霧法による非平衡相粉末の作成.
 - (3) 急冷凝固粉末の製法・特性及び用途.
 - (4) レヴィテーション法による過冷却下での凝固現

象.

(5) 急冷凝固法による材料の機能化と創製.

2. その他.

第5回鉄鋼の結晶粒超微細化部会 開催日: 10月23

日. 出席者: 徳永部会長, ほか 20名.

1. 研究発表.

(1) 厚鋼板の加工熱処理による結晶粒微細化とその

特性の変化.

(2) 高 Si ばね鋼の微細組織と高温延性.

(3) メカニカルアロイングによる微細組織の形成.

(4) アトライター処理による Ni 基超合金の超塑性

特性の改善.

2. その他.

訂 正

鉄と鋼, 74 (1988) 1, p. 151 「低合金鋼の高温延性におよぼす切欠形状の影響」の原稿の種類に誤りがございましたので, 次のとおり訂正させていただくと共に, 深くお詫び申し上げます.

(誤)
技術報告

(正)
論 文

訂 正

解説「気相急冷 Fe 合金の非平衡状態図と物性」(鉄と鋼, 73 (1987) 16, p. 2172) p. 2179, 左欄上から 15 行目, 本文の一部を次のとおり訂正させていただきます.

(誤)

数百 nm/s の堆積速度で作成できる⁽⁴⁾.....

(正)

数 nm/s の堆積速度で作成できる⁽⁴⁾.....

新刊紹介

改 訂

わが国におけるコールドストリップ設備仕様と工場レイアウト

日本鉄鋼協会共同研究会

鋼板部会コールドストリップ分科会

B5判 334頁 定価 会員 6,500円 (送料別)

非会員 8,500円 (送料別)

昭和56年に特別報告書 No. 32 「わが国におけるコールドストリップ設備仕様と工場レイアウト」を出版いたしましたが, この度その改訂版を発行いたしました.

冷延部門においては, 歩留向上, 省エネルギー, 労働生産向上など, コストダウンはもとよりのこと, 品質向上, 製造工期短縮を狙った連続化・連結化を伴った新しい設備が導入されております. 各社において建設が決定されている最新の設備までを含め編集されております.

座右の書として, 多数の方にご利用いただきますようご案内いたします.

(目次)

I. 設備仕様

1. 酸洗設備

1.1 酸洗設備

1.2 廃酸処理設備

2. 冷間圧延設備

2.1 タンデムミル

2.2 レバースミル

3. 清浄設備

4. 焼鈍設備

4.1 シングルスタックタイトコイル焼鈍炉

4.2 マルチプルスタックタイトコイル焼鈍炉

4.3 オープンコイル焼鈍炉・UAD

4.4 連続焼鈍

5. 調質圧延設備

6. 精整設備

6.1 リコイリングライン

6.2 スリッター

6.3 コイル準備機

6.4 剪断ライン

6.5 レベラー

6.6 テンションレベラー

7. ロールショップ

7.1 ロールグラインダー

7.2 ショットプラスター

7.3 放電ダル加工装置

7.4 レーザーダル加工装置

8. 休廃止設備

II. 工場レイアウト

申込方法 次のいずれの方法でご送金願います.

・現金書留 郵便振替 (東京 7-139 番)

・銀行振込 (第一勧業銀行東京中央支店 (普) No. 1167361)

問い合わせ先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3F

日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 (03) 279-6021 (代)